

## 第2回第3次大阪市食育推進連絡調整会議(令和2年3月13日開催予定)中止に伴い、 資料について、委員の皆様からいただいた主なご意見

- ・概ね順調に進捗しているように思われるが、市民の健康や栄養状態の維持や改善にどの程度結びついているのかが不明である。市民の身体状況を含めた経時的なモニタリングの実施と評価が求められる。
- ・市民の食生活に関する目標が数値で示されているが、高校生の朝食欠食等その理由の分析や方策を模索することが大切ではないか。
- ・市民の意識変化や行動実績が数値として現れるまでには数年～十数年のタイムラグがあると思うので、今後とも取り組みを続けていただきたい。
- ・各々の取り組みに関して、アウトカム評価が求められる。
- ・全般によく取り組まれていると感じた。ただ、高校生・大学生や働く世代へのアプローチが少ないと思う。飲食店飲食店やコンビニに、若い人が興味を持ちそうな冊子を置くなど検討を。
- ・全ての世代に対して、生活習慣を見直し健全な食生活を営むことで、免疫力も増し感染症にも対処できるのだという点を強調して啓発してほしい。
  
- ・コロナウイルスの感染拡大防止のために、妊婦教室や乳幼児健診が中止されているが、この時期は適応となる期間が限られているので、集団での啓発が出来ない分、個別への啓発が速やかになされることを望む。
- ・リーフレットの配布・周知が公立保育所を中心に行われていたが、多くの民間保育所、子ども園等にも配布される機会をもってほしい。
- ・栄養教諭の未配置校を無くしていただきたい。中学校は給食を取り入れて間もないので、アレルギー対応等に不安が残る。
- ・健康局の食育イベントを学校と連動して増やしてほしい。また、大学や事業との連携を増やしていただきたい。
- ・野菜が身近になる種まき、なにわの伝統野菜、大阪産の野菜の利用促進に取り組んでほしい。農業を身近に感じてもらう取り組みは有効と考える。
- ・共有テーマ「やさいを食べよう」はシニアには不適切ではないか。
- ・シニア世代への啓発を進めてほしい。
  
- ・食育ボランティア養成について、現在は就業者の増加や就業年齢の高齢化などで活動できる方が減ってきている。男性や若い世代にも広げていけるよう、講座の日程等の検討や講座の広報等が今後の課題ではないか。
- ・ヘルシーな外食をこれまで以上に推進していただきたい。食品ロスは余った給食などをアレンジしてシニア弁当にする他県の取り組みを参考に。
- ・提供する料理の栄養成分を表示するよう飲食店の努力も促したい。
- ・ホームページやフェイスブックといった電子媒体での情報発信や資料提供の啓発活動をしているが、効果測定をアクセス数等で評価できると良い。
- ・アプリ「アスマイル」についての周知が今ひとつわからなかった。様々な取り組みとの連携が期待される。
- ・食育推進ネットワーク会議において「災害時の食」について他の区との連携も含めて取り組まれて有意義である。更なる取り組みの推進に期待する。
- ・区ごとに取り組みの差が見受けられるが、食育推進ネットワークが構築され、会議が開催されているのはあまり知られていないのではないか。
- ・災害時のローリングストック等の啓発をさらに進めてほしい。一層の財政支援に裏付けされた備えが必要であると考えます。
  
- ・「歯周病と糖尿病」や「歯周病と認知症」等について、市民に対し専門家のお話を聞かせてもらいたい。
- ・参加している自分自身も「野菜を食べよう」に取り組みたい。パンフレット類の市内歯科医師会会員への配付をお願いしたい。
- ・大阪府医師会の教育ツールをご活用いただきたい。

# 本市の取り組み

- 令和元年度より講座等のアンケートにおいて、望ましい食生活に結びつかない原因を調査し、今後の事業実施や啓発内容の検討に活用している。
- また、より多くの方が「食生活」に意識を向けるよう、吉本興業のタレントを活用したリーフレット等を作成した。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、区役所での乳幼児健診等で集団指導が十分に行えない中、Facebookの離乳食記事掲載、クックパッド公式キッチンでのレシピの掲載、電話による栄養相談の勧奨を行った。
- コロナ禍でも実施可能な内容を検討し食育イベントを行った。引き続き、大学・企業と連携したイベントを実施する。
- 食育ボランティア養成について、令和2年度から、大学生に対する食育ボランティア養成講座を開始した。
- 食環境づくりとして、市民の野菜摂取量増加と食生活に対する意識変化を目的に、令和2年度から「やさしいTABE店事業」を開始した。野菜をたくさん食べられる飲食店の増加に伴う市民の意識変化を期待する。
- 令和2年度新規開設したクックパッド公式キッチンにおいて、アクセス件数やレシピごとのアクセス数等を勘案し、ユーザー目線の啓発をすすめていきたい。
- 飲食店等において、栄養成分表示が進むよう、栄養価計算ツール「栄養算」を作成し、大阪市ホームページ掲載した。誰でも栄養価計算できるツールとして啓発を進める。
- 給食施設等に活用していただけるよう「給食施設における災害時等の食事提供に関する手引き」を作成し、大阪市ホームページに掲載した。

# 第3次大阪市食育推進計画 次期計画策定スケジュール(案)

## 令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
庁内会議												● 書面
連絡調整会議												

## 令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
庁内会議												●
連絡調整会議		●										

## 令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
担当者ワーキング											●	
庁内会議											●	
連絡調整会議		●										●

## 令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討内容	← 第3次計画 評価・検討 →				← 次期計画の検討 →							
担当者ワーキング			●		●				●			
庁内会議						●					●	
連絡調整会議							●				●	